

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
芸術・美術 I	1 年	2	高校生の美術 1 (日本文教出版)	
科目の概要と目標	<p><b>【学習指導要領】</b> 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造形活動の基礎基本となる形態と色彩の学習を通して、基礎的な表現力を育てる。</li> <li>・基礎基本をふまえて美術の幅広い活動に取り組み、創造的な表現能力を伸ばす。</li> <li>・自然や芸術作品などからよさや美しさを感じ取るとともに、様々な表現方法を知り、制作における発想の手がかりとする。</li> </ul>			
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味・関心・能力等をふまえて題材を設定し、意欲的に学習に取り組めるようにする。</li> <li>・生徒個々の制作に対する思い・考えを十分くみ取るため、制作過程において積極的に生徒とのコミュニケーションを図る。</li> <li>・発想や表現の幅を広げるため、題材に関連する作品や資料等をできる限り提示する。</li> </ul>			
評価の観点と方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>①美術への関心・意欲・態度</li> <li>②発想や構想の能力</li> <li>③創造的な技能</li> <li>④鑑賞の能力</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品（発想・構想～完成）</li> <li>・制作・鑑賞に対する感想文</li> <li>・制作態度</li> </ul>			
	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標	
年の授業内容	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション</li> <li>○「静物画」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサン</li> <li>・油彩</li> </ul> </li> <li>○日本の伝統色と文様                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・色の混色</li> <li>・日本の伝統色</li> <li>・日本の文様</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の多様な表現に関心をもち、意欲的に美しさを味わおうとする。</li> <li>・基礎的な物の見方を理解し対象をよく見て描くことの楽しさを味わおうとする。</li> <li>・明暗表現の基本を知り実践する。</li> <li>・色の三要素を理解する。</li> <li>・日本の伝統色に関心をもち、その色を作ることができる。</li> <li>・日本の文様に関心をもち、切り絵で制作することができる。</li> </ul>	
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○陶芸（デザイン）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・手びねり</li> <li>・板作り</li> <li>・絵付け</li> </ul> </li> <li>○美術鑑賞</li> <li>○デザイン                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・架空生物の表現</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用の美を考え、手びねりの器（ご飯茶碗）、板づくりで（皿）使いやすい器を制作することができる。</li> <li>・形成した器に絵付けを施し、器の趣を高めることができる。</li> <li>・教科書、スライドを通して、西洋・日本・アジアの作品を鑑賞し、時代背景を含め作品に興味・関心を持つことができる。</li> <li>・伝説や神話の世界の生き物が描かれた作品を鑑賞し、架空の生物のキーホルダーを制作することができる。</li> </ul>	
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自画像                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品鑑賞</li> <li>・表情をとらえる。</li> <li>・構図をとる。</li> <li>・着彩する。</li> <li>・相互鑑賞</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作家の自画像に興味関心を持つことができる。</li> <li>・顔の表情や骨格を表現できる。</li> <li>・油絵のマチエールを生かし色調をとらえる。</li> <li>・明暗を捉え、空間を表現できる。</li> <li>・相互鑑賞し、作品のよさを味わう。</li> </ul>	

